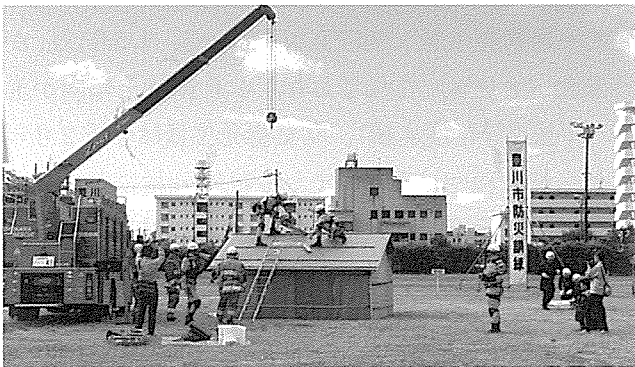


## 東三河支部

# 平成28年度豊川市総合防災訓練に参加 災害時、行政との連携強化を目指す

東三河支部（松井忠博支部長）は9月4日（日）、豊川市防災協議会主催の平成28年度豊川市総合防災訓練に参加しました。

昨年度、当協会と豊川市が「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結したことから、豊川市企画部防災対策課より訓練に参加の要請があり、本年度より参加をすることになりました。



当日は、陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場をメイン会場とし、第2会場は天王小学校、第3会場は御津、小坂井地区津波浸水想定区域の計3か所、東海地震警戒宣言の発令と共にサイレンが鳴り、静岡県沖、三重県沖を震源地としたマグニチュード9.0、震度6強の地震を想定して訓練が行われました。家屋の



倒壊及び火災が発生するとともに、道路の崩壊による孤立集落の発生など、各地に大きな被害が発生し、また、津波による被害も想定に、参加人員700名、参加機関37団体、参加車両60台で行われました。

午前8時30分、地震発生直後に災害対策本部に職員が参集、災害対策本部運用となり避難勧告、避難誘導、続いて自主防災会、消防団、警察、消防署による倒壊家屋からの救助など本番さながらの訓練が始まりました。

東三河支部は、災害廃棄物の処理の要請を受け、有限会社清水商店 清水工場長が本部長である山脇実豊川市長に「只今より、災害廃棄物処理作業を開始します。」と報告し、会場内を4tコンテナ車で周回しました。当日は来賓として松井支部長が出席され、訓練の実演に(有)清水商店の従業員2名が参加されました。

最後に本部長より講評があり午前10時30分訓練の全行程を終了しました。

